

サッカー・全日本 大学トーナメント

初出場 で 準優勝

「冬・夏連覇」あと一歩



エース長澤、仲川ら活躍光る



▲ 初出場ながら準優勝を果たした専大サッカー部

7月8日に開幕した総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント(以下、総理大臣杯)の決勝が16日に大阪長居スタジアムで行われ、専大(関東第7代表)は阪南大(関西第3代表)を相手に善戦するも1-3で敗戦。初の総理大臣杯は準優勝で幕を閉じた。

1回戦で日本経済大

(九州第2代表)を3-0で下すと、2回戦は関西大(関西第1代表)を相手に延長戦の末2-1で勝利。準々決勝は昨季の全日本大学選手権(以下、インカレ)で対戦した中京大(東海第2代表)。互いに譲らない展開で0-0のままPK戦にもつれ込むも、守護神・福島春樹(法1・静岡

準決勝の駒大(関東第5代表戦は仲川輝人(商2・日体荏原高)がハットトリックを達成するなど専大イレブンの持ち味である攻撃的なサッカーを發揮し、6-0で大勝。全国の壁に苦しみながらも決勝に進出した。インカレに次ぐ「冬・夏連覇」を目指した決勝は、エース・長澤和輝(経営3・八千代高)が先制点を挙げるも、初めて挑む夏の大会で暑さと連戦による疲労はピークに達していた。専大らしいサッカーが見せられず、守備陣も相手の猛攻を止めることができなかった。源平貴久監督は「専大らしく得点を取りにくい」と選手たちには話していたが内容が悪かった。ただ、負けはしたがここまでよく頑張ってくれた」と振り返った。準優勝という結果に終わったが、下を向く選手はいない。7月20日から始まった天皇杯



▲ 決勝で先制点を決めた長澤

専大スポーツ

No.317

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ「スポーツ」からアクセスで確認ください
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/)でも大会結果を配信しています



▶ 準決勝、ハットトリックを達成した仲川



▶ スタンドから熱い声援を送る応援団 (撮影・土屋)

ONE DAY TEAMMATE 2012

専修大学体育会の地域貢献活動「ONE DAY TEAMMATE 2012」が6月30日から8月5日まで、生田キャンパスほかで実施された。7面に関連記事。

この活動は川崎市教育委員会との連携事業で、「楽しみながら、大学生のパワー・スピード・テクニックを体感しよう」をテーマに、地域の子どもたちを対象とした運動教室を開催。アーチェリー、空手など26教室が開講された。

ラグビー教室に参加した小学生は「大先生のプレーを近くで見ることができていい経験になった。また機会があったら参加したい」とコメントし、多くの参加者がレベルの高いプレーを体感した。(村上 大晃・文2)

7月22日、神奈川県江ノ島ヨットハーバーで行われた「湘南ヨット教室」。ヨット部員と一緒に海へ漕ぎ出し、ヨット競技の楽しさに触れた(撮影・石川)

馬術・全日本ジュニア大会 坂口・フィロソファー号 6位入賞と健闘

7月15日、静岡県御殿馬術大会が行われ、坂口智康(経済4・八女工場で全日本ジュニア馬場高)とフィロソファー号が6位入賞と健闘した。

自由演技では、とても気が持たずよく演技できた」と感想を話した。また、「8月の大会に向けての調整もできた」と次の目標を前向きに語った。(大嶋 輝・文2)

卓球・全日本大学総合選手権(団体の部) 男子がベスト8

7月5日から8日まで、福岡県の北九州市立総合体育館で全日本大学総合卓球選手権(団体の部)が行われ、男子がベスト8となった。

決勝トーナメントはシングルスの王凱(商2・新潟産大附高)と、ダブルスの田中健奨主将(商学生秋季リーグ戦。4年次生にとって学生生活最後の試合になるので、よ

ダブルスで活躍した田中主将

高)組が躍動し、京都産業大、同志社大に3-0のストレート勝ちで準々決勝に駒を進めたが、今大会優勝の明大に0-3で敗れた。

試合を振り返り田中主将は「この大会では、7年間で明大と6回対戦し、すべて負けている。今回は手も足も出ず、悔しい。次の団体戦は関東学生秋季リーグ戦。4年次生にとって学生生活最後の試合になるので、よい結果で終われるようにしたい」と語った。(橋本 里恵・文3)

◇水泳部
▽日本学生選手権
【競泳】9月7~9日東京辰巳国際水泳場
【水球】9月7~9日相模原市総合水泳場
◇レスリング部
▽全日本学生選手権
8月23~26日(大阪府・堺市金岡公園体育館)

